

上関 未来通信

No 11
通算327号

発行 平成25年12月20日

スペシャルインタビュー

奈良林教授に聞く

原子力の未来

政権交代が行われて早1年。安倍総理の経済政策が浸透し始め、日本経済は持ち直しの兆候が見られるものの、原子力発電所の停止によるエネルギー不安は未だに解決されていません。しかし経済産業省が「原発ゼロ」の政策を撤回し、新たなエネルギー基本計画案で原子力を「基盤となる重要なベース電源」と位置づけるなど、少しずつ状況は好転しつつあります。今回は、こうした中で、新規制基準や日本の現状、上関の展望などを、原子力工学をご専門の奈良林直・北海道大学教授にうかがって

新規制基準について

古泉／先生は原子力工学がご専門ですが、新たに策定された規制基準について、どのような印象をお持ちですか？



奈良林 直 氏

奈良林／福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、しっかりと津波対策が取られました。そして、万一過酷な事故が起きた場合の対策が新たに

どうかが重要なはずです。活断層も破壊帶もみんな一緒にして「上に建物をつくっちゃいけない」「既にある発電所は廃炉にしなさい」というのが今の規制になってしまっており、しかし余計なものもあります。例えば活断層評価です。40万年に1回動いたかではなく、繰り返し動くかどうかが重要なはずです。活断層も破壊帶もみんな一緒にして「上に建物をつくっちゃいけない」「既にある発電所は廃炉にしなさい」というのが今の規制になってしまっており、

加わりました。また、設備面だけでなく、事故の際の人的対応力の向上が重要であることも示されました。こうした事故対策はしっかりとおり、安全性は飛躍的に高まると思います。

深刻な風評被害に繋がる情報汚染

古泉／原子力への逆風が強まる中、情報発信の難しさは私たちも感じています。

奈良林／福島では、現在も懸念な汚染水対策などの作業が進められています。そして、多くの方が、未だ仮設住宅での生活を余儀なくされています。そこで大きな問題となっているのは、実は放射能汚染ではなく情報汚染だと、最近強く感じるようになります。

古泉／日本でも、偏った報道による風評被害があるようです。

奈良林／今のマスコミ報道では、些細なことでも恐怖を煽るような内容が数多く見られます。考えられる影響が正しく伝わっていないために、不必要的恐怖をさらに煽る人物が現れ、風評被害を拡大させている。とにかく外部から来て、無責任なデマを振りまく人物の責任は重いと思いま

なりました。

先日、福島の仮設住宅に住んでおられる方たち20数人と、1986年にチエルノブリ事故が発生したウクライナに行つてきました。現地では、放射能汚染で亡くなつた人はわずかとされていますが、情報汚染すなわち風評被害が原因で工場等が閉鎖され、職を失つて生きる糧をなくされた人や自殺した人は、何万人もいるとのことでした。本当に怖いのは風評被害なのです。

奈良林／今、日本でも、偏った報道による風評被害があるようです。

古泉／日本でも、偏った報道による風評被害があるようです。

奈良林／

古泉／

奈良林／</p

上関には必ず原子力発電所ができます



原子力の代替にはならない 再生可能エネルギー

古泉／今、再生可能エネルギーが注目されていますが、これで原子力の不足分を補えますか？

奈良林／世界の動向を見ると、再生可能エネルギーをやつたところは全部失敗しています。

古泉／今、再生可能エネルギーが注目されていますが、これで原子力の不足分を補えますか？

奈良林／世界の動向を見ると、再生可能エネルギーをやつたところは全部失敗しています。

古泉／今、再生可能エネルギーが注目されていますが、これで原子力の不足分を補えますか？

奈良林／世界の動向を見ると、再生可能エネルギーをやつたところは全部失敗しています。

古泉／今、再生可能エネルギーが注目されていますが、これで原子力の不足分を補えますか？

古泉／今、再生可能エネルギーが注目されていますが、これで原子力の不足分を補えますか？

古泉／今、再生可能エネルギーが注目されていますが、これで原子力の不足分を補えますか？

古泉／今、再生可能エネルギーが注目されていますが、これで原子力の不足分を補えますか？

古泉／今、再生可能エネルギーが注目されていますが、これで原子力の不足分を補えますか？

化石燃料に依存するリスク

古泉／安定したエネルギー確保のために原子力は有効ですか？

奈良林／日本はエネルギーの自給率が4%しかありません。原子力を入

れても19%くらいです。

日本は2度のオイルショックを機

に脱石油や省エネを進めてきた結果、

古泉／新設される発電所にはどんな優位性がありますか？

奈良林／古いプラントは格納容器が

小さないので、設備を追加しにくいと

いう難点があります。

それから、新基準の中に「ケーブルの難燃化」というのがあります。

瀬戸内海は立地に適している

新設発電所の優位性

古泉／瀬戸内海に面した場所に原子力発電所をつくるメリットは何でしょう。

奈良林／天然の擁崖に囲まれています。

そこでも、長い半島が九州に向かって伸びていますから津波は入り込

みにくいですね。それから瀬戸内海に大きな地震の発生源はありません。

そういう点からもかなり有利ですね。

古泉／温排水の影響を心配する声も

山崎、松原両名が訪れた仮設商店街



JAIF 地域ネットワーク見学会

復興進む女川町を見学



町外からの雑音を排除し 自分たちでできることから

平成25年10月30～31日、青壮協の山崎強副会長と松原聖の両名が、日本原子力産業協会（原産協会＝JAIF）『JAIF地域ネットワーク』が主催する『女川見学会・交流会』に参加しました。

見学会は、原子力発電立地などを訪れ、エネルギーや

原子力について学ぶとともに、地域間の交流を深めることを目的として原産協会が開催しているものです。

今回の視察は全国から22名のメンバーが参加。30日には女川町内の仮設商店街、仮設住宅、津波の被害場所を見学しました。津波被害の大きさ、新聞報道では伝わってこない現地の様子を目の当たりにし、自然災害の恐怖に言葉を失いました。

意見交換会では、女川町の方から「震災後、どこかの宗教団体が『原子力発電所はこんなに危ないんです!』といふ内容の新聞を仮設住宅にまで配っていた。それを見た住民が『女川にこんなものを配るのは間違っている』と返した」という話もあり、大変有意義なお話を聞くことができました。

ここでは「福島第一原子力発電所を見学。ここは東日本大震災の震源地から最も近い原子力発電所です。ここでは「福島第一原子力発電所より近かったにもかかわらず被害が抑えられたのは、主要施設の海拔が高かつたことが要因だ」といふ説明を受けました。

震災直後の4日間、約1500人の被災者を施設内に受け入れた話などを聞

き、電力会社と女川町の人たちとの絆が震災を経てより一層深まったのではない

希望を持つて頑張ります!!



奈良林／瀬戸内海でも海水の出入りはありますし、温排水は火力発電所も一緒ですね。

古泉／町民は、上関に原子力発電所が本当にできるのかを一番心配しています。どういう条件が整えば「上関でつくりましょう」ということになるのでしょうか。

奈良林／まず、日本のエネルギー政策の方向が定まる必要があります。日本の経済に与える影響、地球環境に与える影響を考え、原子力が必要だという根幹のところを理解する必要があります。電気代が上がり始めれば多くの国民が危機意識を持つではないでしょうか。

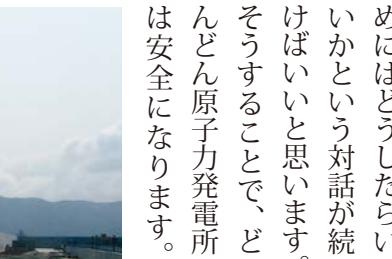
ですから、しばらく時間は必要だと思いますが、その間に出来る準備を進めながら、世論が冷静になつた段階で「新設します」という状況に持つていていただければと思います。

古泉／つまり先生は、必ず上関の原子力発電所は建設されるとのお考えですか？

奈良林／近いか遠いかの違いだけだと思います。日本としてはエネルギーを確保しなくてはなりませんし、石油やガスはいつまでも安定して確保できるとは限りませんから。



島根原子力発電所の防波壁（最上部は海面から15m）



島根原子力発電所3号機建屋内の水密扉

奈良林／地域や日本のためだけでなく、人類のためにがんばってください。

積極的に行つていかなければならぬと思っています。これからもアドバイスをお願いします。

奈良林／地域や日本

上関は是非そういうことをしていただきたいと思います。島根原子力発電所での防波壁や水密扉など個々の安全対策についても、是非紹介してください。こういうことを広く知つていただきことも大切ですから。

古泉／ありがとうございます。対話や広報については、私たちの団体が

古泉／正しい情報の発信や対話は必要でしょうね。

奈良林／もちろんです。反対意見の方はいていいのです。

それと、電力会社や推進の方との間で、原子力発電所を安全にするためにはどうしたらいいかという対話が続ければいいと思います。

古泉／ありがとうございます。対話や広報については、私たちの団体が

ただきたいと思います。島根原子力

発電所での防波壁や水密扉など個々の安全対策についても、是非紹介してください。こういうことを広く知つていただきことも大切ですから。

古泉／ありがとうございます。対話や広報については、私たちの団体が

8m（地震の影響で地盤が1m沈下したため津波襲来時の標高は実際に

は13・8mのこと）として設計されていたため、ぎりぎりの所で大被

害を免れました。

このような対策がと

られていたのは、発電所

設計段階においてほぼ

決まりかけていた津波

想定高を更に厳しくし

たことがあつたようであ

す。女川原子力発電所は

地元である東北電力によつてつくられており、

その中には女川町一帯

を生活基盤とする方が

多くいたので、安全に対

する意識も段違いであ

つたと想像できました。

新規建設・再稼働に

関しても、より地域に密

着した電力会社であれば

安全性にも期待が持

てそうです。

奈良林先生にお話をうかがい、上関には必ず原子力発電所ができると いう希望を持つことができました。

対話の重要性は、推進・反対にかかわらず町民全員が感じていると思 います。町外からの妨害者も確かにいます。まずは町民同士で意見交換をする場ができるべきだと思います。これについては、青壮協のメンバーが、既に積極的に活動しているところです。

上関町青壮年連絡協議会
松原 聖

地元とのつながりを実感

今回、女川原子力発電所の見学とともに、女川町内の方の話を聞く時間もありました。印象的だったのは、「女川原子力発電所は女川の人たちの働く場としても、地域の人の繋がりとしても必要なものだし、あって当たり前のもの。全国で一番最初に再稼働してもよい」というお話をでした。

上関町青壮年連絡協議会
副会長 山崎 強

女川原子力発電所の見学を通じて強く印象に残ったのは、安全への意識の高さでした。地震によって約13mの津波に襲われましたが、主要施設の標高が14.

地元重視で安全性を向上

上関大橋

ふるさと市場〔仮称〕

平生・柳井

完成予想図（上関町役場提供）

待望の「ふるさと市場」着工



この秋、室津の埋立地に町民待望の『ふるさと市場』（仮称）が着工しました。現在、来秋のオープンに向け、着々と準備が進められています。そこで施設の概要や目的など、上関町役場産業観光課地域産業振興係の北谷勲係長にうかがってみました。

古泉／待ち望んでいた『ふるさと市場』（仮称）がようやく着工しましたね。どんな施設になるんでしょう。

北谷／上関の海産物、農産物を中心とした特産物販売所です。当面は町の皆さんや近隣の方々を対象にした、日々の需要に応える生鮮食料品が主になると思います。少しづつ評判が広まつていけば、より広いエリアを対象にして、観光客などを呼び込んでいきたいと思っています。

古泉／具体的にはどんな商品が並びますか？

北谷／中心に鮮魚と農産物の直売所があります。直売部分は、基本的に個人の自由出荷にする予定です。それぞれ値段をつけてもらい、販売します。水槽を置いて活魚を販売し、買つていただいた魚を下処理して持つて帰つてもらうこともできます。そのほか、加工品や上関の特産物販売コーナーも設けます。

原子力の日に街宣

古泉／『道の駅』の申請は？

北谷／行う予定です。そのためには情報発信のコーナーや常時使えるトイレの設置が条件ですが、それらの施設も備えています。駅長さんは、上関のことをよく知つている元県漁協の担当者に来てもらいました。運営、情報発信など、手腕を發揮してくれると思います。

古泉／楽しみですね。

北谷／地元の賑わい、経済に貢献する施設にしたいと思います。

※個人は会員制にするほか、漁協、農協にも出荷の協力を要請中



10月26日の『原子力の日』、町連協では町内各所に「上関原電とともに活力ある町づくりを」と書いたのぼりを設置するとともに、街宣車によるアピール、チラシの配布を行いました。

古泉／『道の駅』の申請は？

北谷／行う予定です。そのためには情報発信のコーナーや常時使えるトイレの設置が条件ですが、それらの施設も備えています。駅長さんは、上関のことをよく知つている元県漁協の担当者に来てもらいました。運営、情報発信など、手腕を發揮してくれると思います。

古泉／楽しみですね。

北谷／地元の賑わい、経済に貢献する施設にしたいと思います。

古泉／今回の取材を通じて強く思ったことは「正しい情報報を正しく伝えることの重要さ」です。そのためには、主義主張を超えた「対話」が必要です。原子力発電に強い懸念を示す声も出始めていること、「町内でも地域ビジョンの検討が行われた結果、原子力の立地が不可欠と結論づけた」と、「安心、安全で活力ある町づくりを行うために、一致団結することが必要」などです。

先日、経産省が発表した『エネルギー基本計画』には「原子力は基盤となる重要なエネルギー」と記述されるなど、その必要性は見直されつつあります。私たちも希望を持ち、一歩ずつ確実な町づくりを進めていきましょう。



意気込みを語る北谷係長

特産品づくり応援プロジェクト

県漁協上関支店女性部

水軍祭りでは上関支店前で販売

地元の魚介類を使った料理を開発し、各種のイベントで販売しています。中でも好評なのが、夏場の「鯛飯」や「鯛寿司」。そして冬場の「ふく鍋」や「鯛寿司」。

女性部は白井田の『かかし祭り』など地域のイベントにも積極的に参加。「上関の味を大勢の人々に知ってもらう活動を続けたい」と張り切っています。



今年も好評!! 女性部の鯛寿司、ふく鍋

販売。

予約分を含め100食以上用意された鯛寿司はお昼前には完売しました。

ア』ではふく鍋を販売しま

した。こちらも相変わらず

雨が降るあいにくの天氣で

したが、大鍋で炊かれたふ

く鍋は、瞬く間に売り切れ

てしまいました。

11月の『愛・ランドフェ

ア』ではふく鍋を販売しま

した。こちらも相変わらず

雨が降るあいにくの天氣で

したが、大鍋で炊かれたふ

く鍋は、瞬く間に売り切れ

てしまいました。

ア』ではふく鍋を販売しま

した。こちらも相変わらず